

平成 26 年 10 月 15 日 18:00
中 部 地 方 整 備 局

土砂災害専門家による台風 19 号通過後の 御嶽山流域の土砂流出状況に関する現地調査結果について

台風 19 号通過後の御嶽山流域の土砂流出状況の調査のため、国土技術政策総合研究所・独立行政法人土木研究所の土砂災害専門家及び中部地方整備局職員によるヘリコプター及び地上から調査を実施しました。

○調査行程

10月14日（火）地上調査 8:50～13:10

調査実施溪流： 濁沢川（王滝村）

冷川、鹿ノ瀬川、白川、湯川（木曾町）

10月15日（水）御嶽山流域のヘリコプター調査 9:00～11:00

現地調査に関する土砂災害専門家の所見は、中部地方整備局災害対策本部ホームページをご覧ください。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/saigai/NEWS/MAIN/index.htm>

【配布場所】 中部地方整備局記者クラブ、飯田市役所記者クラブ、木曾合同庁舎記者室、
塩尻桔梗ヶ丘記者クラブ

【本記者発表に関するお問い合わせ先】

国土交通省中部地方整備局 水災害予報センター

TEL 052-961-3049

御嶽山現地調査結果について

1. 調査者

10月14日（火）地上調査

- ・ 国土技術政策総合研究所土砂災害研究部：長井深層崩壊対策研究官
- ・ （独）土木研究所 火山・土石流チーム：藤村主任研究員
- ・ 中部地方整備局河川部河川工事課：松村課長補佐

10月15日（水）ヘリコプター調査

- ・ 国土技術政策総合研究所土砂災害研究部：長井深層崩壊対策研究官
- ・ 中部地方整備局河川部水災害予報センター：可児センター長

河川部：阿部建設専門官

地域河川課：加勢田技官

2. 調査行程

10月14日（火）地上調査

- ・ 8:50 冷川、鹿ノ瀬川、白川、湯川の濁り、増水時の痕跡について県道20号より確認
- ・ 10:10 林野庁と合流。濁沢川の土砂流出状況調査開始
- ・ 13:10 下山

10月15日（水）ヘリコプター調査

- ・ 9:00 県営名古屋空港離陸
名古屋～御嶽山上空～名古屋
- ・ 11:00 県営名古屋空港着陸

3. 所見

<所見の概要>

- ・ 台風 19 号の降雨による土石流の発生は確認できなかった。
- ・ 濁沢川上流域では、台風 18 号で発生した土石流による土砂の残存、火口付近より流下した火山灰及び土石の堆積が確認できた。
- ・ 引き続き、大雨の際の土石流に対する警戒が必要である。

(濁沢川 10 月 14 日 地上調査所見)

- ・ 濁沢川の林野庁ワイヤー設置箇所（洗い越し施設付近）で土石等の堆積状況を調査
- ・ 当該箇所においては、台風 18 号通過後の 10 月 6 日の調査時にも確認されたような高い濃度で火山灰を含んだと思われる泥水が勢いよく流下していた
- ・ 一方で、ワイヤセンサが設置された堰堤上流には、前回の土石流により堆積した土石等が残存している状況が確認された
- ・ 今回の出水で水位が著しく上昇した痕跡や、上流から新たに流出し堆積したと思われる礫径の大きな砂礫は、ほとんど確認されなかった
- ・ 下流側においては、濁沢川と伝上川の合流点より約 600m 下流に位置する治山堰堤で、除石工事により 2~3m 掘削された河床面から、2~3m 程度の厚さで粒径の細かい土砂が堆積していることが確認された
- ・ それより下流部においては顕著な増水、土砂の堆積は認められず、王滝川合流点より約 1km 上流に位置する鋼製の堰堤では、設置されたワイヤセンサの切断に至る土砂流出・流水等の痕跡は確認されなかった。

(濁沢川 10 月 15 日ヘリ調査所見)

- ・ 悪天候により御嶽山頂付近の降灰状況は、確認できなかった。
- ・ 最上流部地獄谷付近から王滝川合流点で（白濁は、牧尾ダム湛水池末端付近まで）白濁した流水を確認できた。

- ・ 伝上川合流点上流の溪流内には、火口付近より流下した火山灰及び土石の堆積が確認できた。
- ・ 濁沢川に合流する伝上川では、土砂移動の痕跡は、確認できなかった。
- ・ 今後も、時間 10mm 程度の降雨でも同程度の土砂の流出が生じる可能性があると考えられるが、集落に達するような土石流のおそれは小さいと考えられる。
- ・ しかしながら、溪流周辺では、大雨の際には、土石流に対する注意や警戒が必要である。また、火山活動の推移により流域に状況変化があった場合には、これらをふまえた追加調査を行う必要がある。

（白川・湯川・鹿ノ瀬川・冷川に関する所見）

- ・ 悪天候により御嶽山頂付近の降灰状況は、確認できなかった。
- ・ 御嶽山東麓の河川においては、現地調査により、流域が山頂部に接する、白川、湯川で白濁を確認した。
- ・ 鹿ノ瀬川・冷川については、顕著な濁りは確認できなかった。
- ・ 流下痕跡からも、大きな増水があったとは認められなかった。
- ・ しかしながら、溪流周辺では、大雨の際には、土石流に対する注意や警戒が必要である。また、火山活動の推移により流域に状況変化があった場合には、これらをふまえた追加調査を行う必要がある。

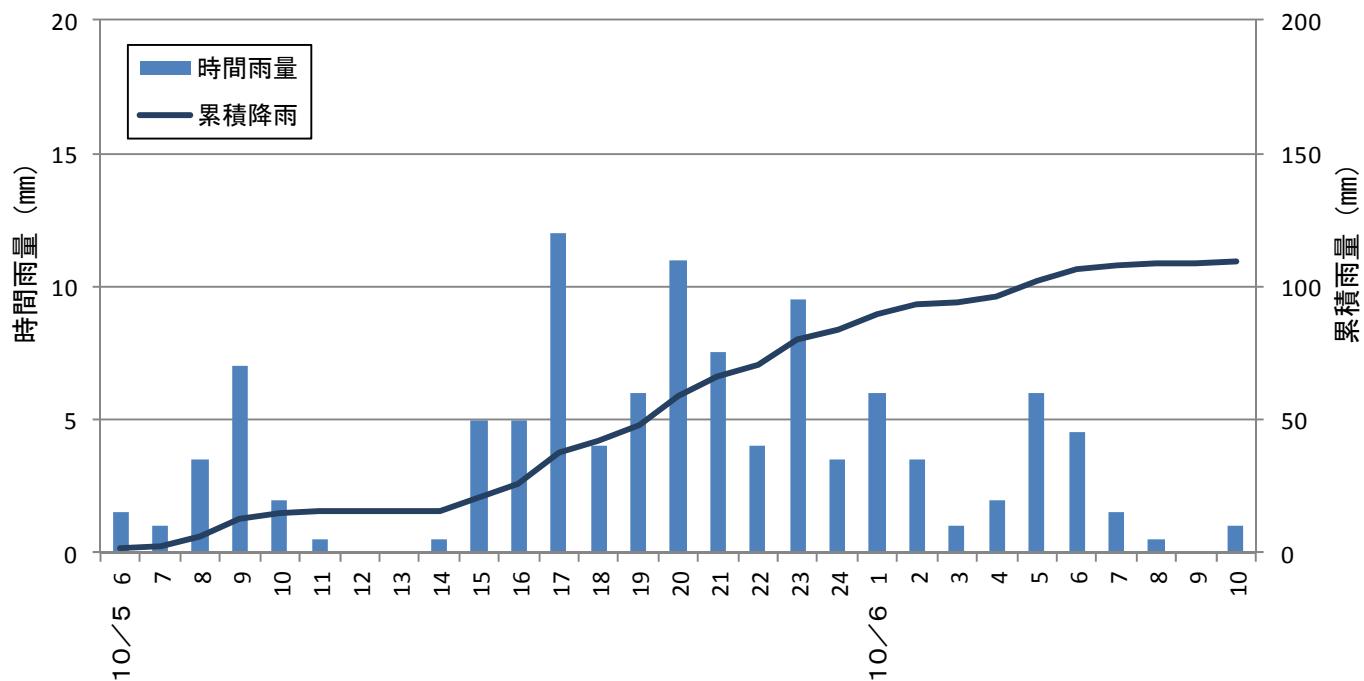
河川名	濁沢川	湯川	白川	鹿ノ瀬川	冷川
状況	※濃い白濁	白濁	白濁	透明	透明

※濁沢川については、前回調査時の台風 18 号通過後と濁りの状況について変化はない。濁沢川の濁りは、湯川、白川の白濁に比べて、高い濃度で火山灰を含んだ濁りであることから「濃い白濁」と表現している。

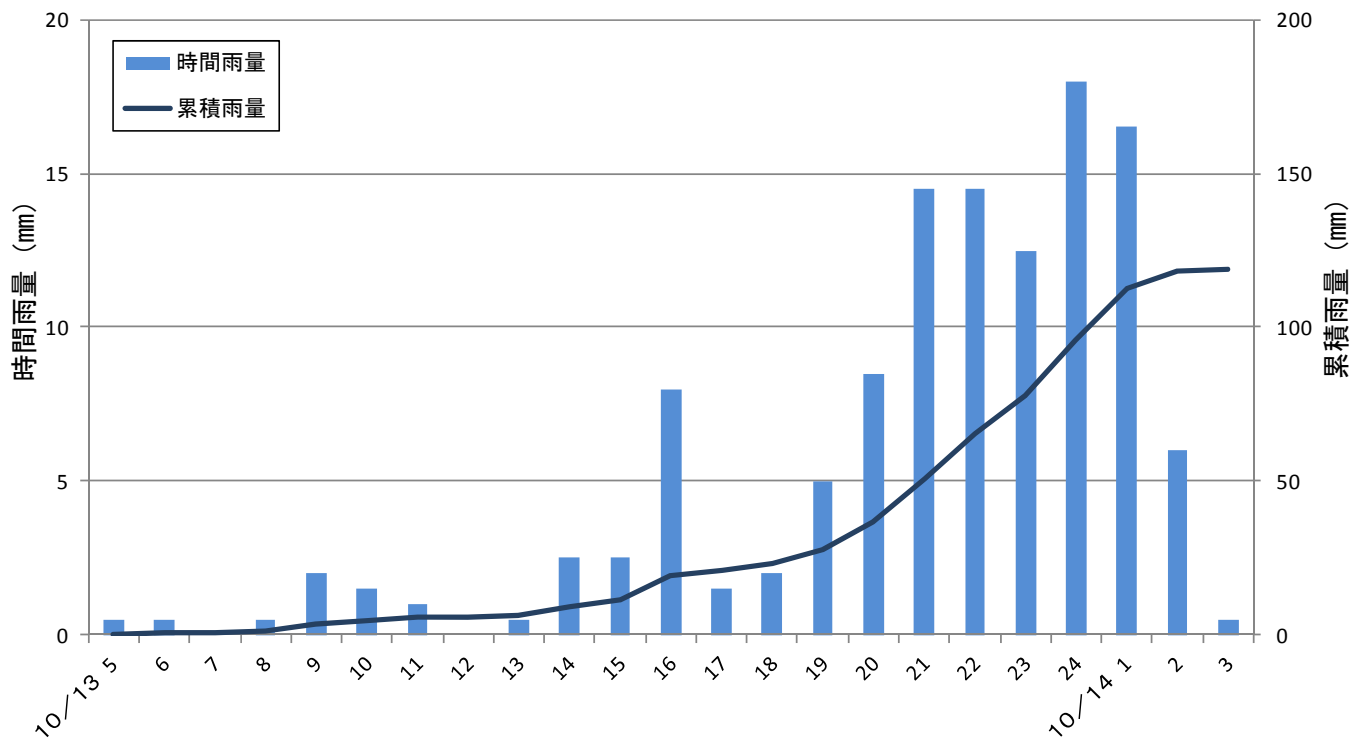
以上

(参考) 台風時の降雨状況

台風 18 号 累積雨量 108mm、最大 1 時間降雨 12mm



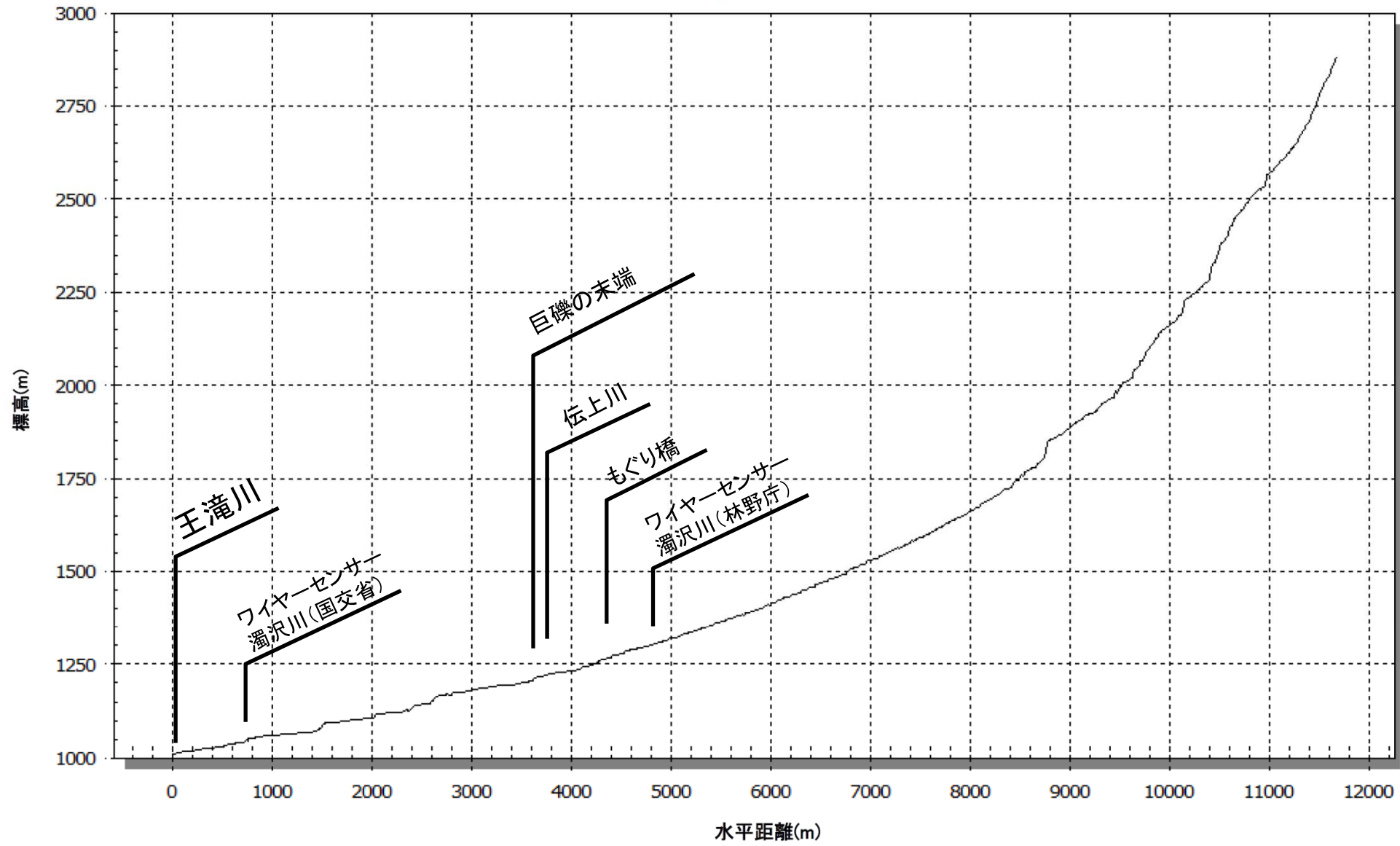
台風 19 号 累積雨量 119mm、最大 1 時間降雨 18mm



参考資料



濁沢川 縦断面図



大地獄谷付近の状況(9/29)



大地獄谷の状況(10/7)



大地獄谷の状況(10/7)



濁沢川の土石流堆積状況(10/7、林野庁ワイヤーセンサー設置箇所付近より上流を望む)



濁沢川の土石流発生前の状況(9/29)、林野庁ワイヤーセンサー設置箇所付近)



濁沢川の土石流発生後の状況(10/7、林野庁ワイヤーセンサー設置箇所付近)



濁沢川の土石流発生後の状況(10/15、林野庁ワイヤーセンサー設置箇所付近)



濁沢川の土石流発生状況(10/6、林野庁ワイヤーセンサー設置箇所付近)



濁沢川の土石流堆積状況(10/7、林野庁ワイヤーセンサー設置箇所付近)



濁沢川の土石流堆積状況(10/14、林野庁ワイヤーセンサー設置箇所付近)



濁沢川と伝上川の合流点の状況(10/7)



濁沢川と伝上川の合流点の状況(10/15)



濁沢川中流部の状況(10/7)



濁沢川中流部の状況(10/14)



国土交通省ワイヤーセンサー設置箇所付近の状況(10/7)



国土交通省ワイヤーセンサー設置箇所付近の状況(10/14)

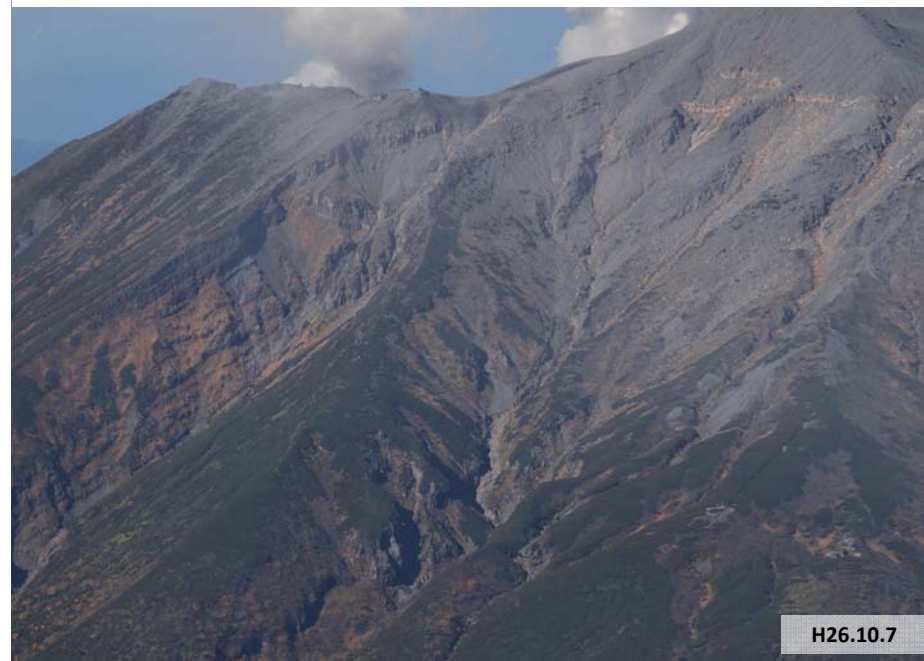


白川源頭部の状況(9/29)



H26.9.29

白川源頭部の状況(10/7)



H26.10.7

白川の状況(10/6)



H26.10.6

白川の状況(10/14)



H26.10.14

湯川源頭部の状況(10/7)



H26.10.7

湯川の状況(10/6)



H26.10.6

白川の状況(10/14)



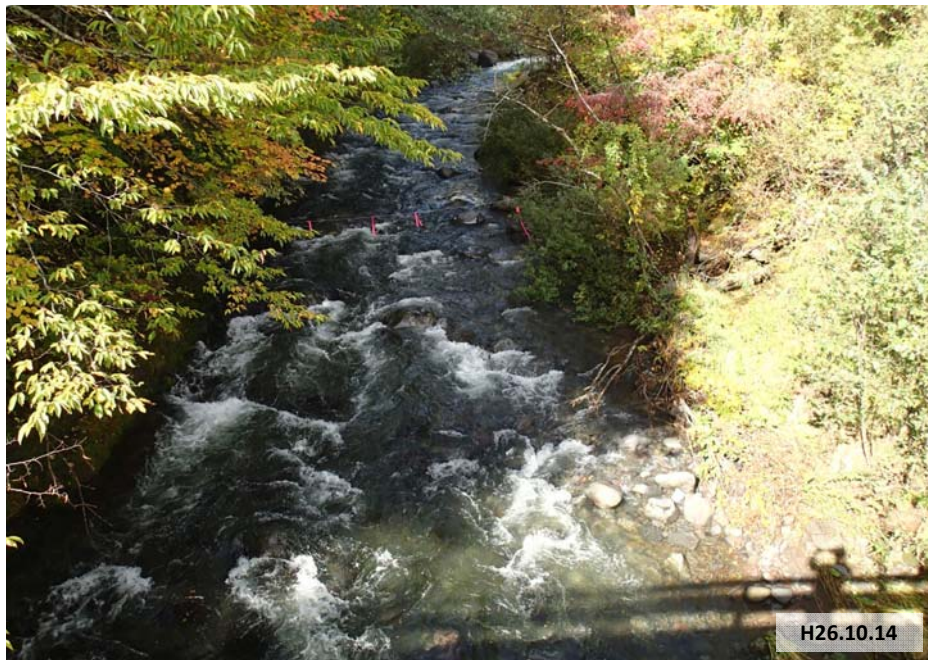
H26.10.14

冷川の状況(10/6)



H26.10.6

冷川の状況(10/14)



鹿ノ瀬川の状況(10/6)



鹿ノ瀬川の状況(10/14)

